



2022年11月4日

各 位

会 社 名 三井倉庫ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 古賀 博文
(コード番号 9302 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員財務経理担当 松井 博文
(TEL. 03-6400-8006)

2023年3月期通期連結業績予想及び通期個別業績予想の修正、 並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ

2022年11月4日の取締役会において直近の業績動向を踏まえ、2022年8月2日に公表しておりました2023年3月期の通期連結業績予想及び期末配当予想、並びに2022年5月10日に公表しておりました2023年3月期通期個別業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期連結業績予想の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回発表予想 (2022年8月2日)	百万円 300,000	百万円 22,500	百万円 22,000	百万円 13,500	円 銭 542.92
②今回修正予想	305,000	24,500	24,900	15,000	603.25
③増減額 ②-①	5,000	2,000	2,900	1,500	—
④増減率 ③/①	1.7%	8.9%	13.2%	11.1%	—
参考：前年同期実績 (2022年3月期)	301,022	25,939	25,553	14,503	583.98

修正の理由

世界的なサプライチェーンの混乱が継続する中、急速に変化する顧客のニーズを的確に捉え、機動的にスペースを確保したことによりフォワーディング業務の取扱が増加したこと、及び顧客のBCP対応や環境に配慮した代替輸送ルートの提案等の物流ソリューション営業を積極的に行うことで新規顧客の獲得や既存顧客の受託範囲が拡大したことにより、上期の実績が予想を上回りました。また、海運市況の混乱に伴う海上輸送から航空輸送へのシフトや、航空運賃高止まりによる影響(以下、「特殊要因」)は、前回発表時の想定よりも収束に時間を要すると見込んでいることから、通期連結業績予想を修正いたしました。2022年8月2日に公表した通期連結業績予想と今回公表した通期連結業績予想の差異の概要については次頁をご参照ください。

連結営業利益における前回公表予想と今回公表予想の差異の概要（単位：億円）

	実力値	特殊要因	合計
2022年8月2日公表 通期業績予想	203	22	225
フォワーディング業務の取扱増加等	+ 8	-	+ 8
特殊要因（船落ちによる航空輸送へのシフト、航空運賃高止まり）	-	+ 3	+ 3
上期増減合計	+ 8	+ 3	+ 11
為替影響	+ 1	-	+ 1
特殊要因（船落ちによる航空輸送へのシフト、航空運賃高止まり）	-	+ 8	+ 8
下期増減合計	+ 1	+ 8	+ 9
本修正における通期業績予想	212	33	245
参考：前年通期実績	170	89	259

2. 2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の通期個別業績予想の修正

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回発表予想 (2022年5月10日)	百万円 20,300	百万円 5,100	百万円 4,600	百万円 4,600	円 銭 185.21
②今回修正予想	21,200	6,200	5,800	6,500	261.41
③増減額 ②－①	900	1,100	1,200	1,900	－
④増減率 ③／①	4.4%	21.6%	26.1%	41.3%	－
参考：前年同期実績 (2022年3月期)	20,917	6,861	6,097	5,644	227.25

修正の理由

当社はグループの経営戦略策定及び経営管理、不動産業を主な事業とする持株会社であり、個別業績においては関係会社からの受取配当金を営業収益に計上しております。関係会社からの受取配当金が当初計画を上回る見通しであることに加え、グループ内で子会社株式の一部を売買することに伴う特別利益が発生する予定であることから、営業収益以下の通期個別業績予想を修正いたしました。なお、当該受取配当金及び特別利益は連結上消去されるため、連結業績に与える影響は軽微であります。

3. 2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (2022年8月2日発表)	円 銭	円 銭 92.00	円 銭 164.00
今回修正予想		109.00	181.00
当期実績	72.00		
前期実績 (2022年3月期)	35.00	94.00	129.00

修正の理由

当社グループは、「中期経営計画 2022」（2023 年 3 月期～2027 年 3 月期）において、連結配当性向 30%を基準とする業績に連動した機動的な配当を実施する方針としております。

今回、上記 1. のとおり 2023 年 3 月期の業績予想を修正したことに伴い、配当方針に沿って通期の連結配当性向が 30%程度となるよう 1 株当たり配当金の配当予想を修正するものであります。

(注) 上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報に基づくものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上